

# ガルボンS-HB

2017年6月

No. 6250

タイプ 自己硬化形アルコール溶性厚膜無機ジンク塗料

- 特長
- ①長期防食、防さび性優秀
  - ②厚塗り可能(1回塗り75 $\mu$ m)
  - ③速乾性
  - ④耐水、耐塩水、耐溶剤性優秀
  - ⑤耐熱性優秀(限度400 $^{\circ}$ C)
  - ⑥有機上塗り性良好

用途 各種石油タンク、溶剤タンク、ガスタンク内面塗装、船舶カーゴタンク、ホールド、船舶外板、甲板、海洋構造物、橋梁、プラント等、その他一般鋼材の長期防さび用

塗料性状	混合比率(質量比)	主剤：粉末 = 25 : 75
	色	グレー
	密度	2.66g/mL
	重量VOC	17.4wt%
	塗付量(理論値)	220 ~ 330g/m <sup>2</sup>
	膜厚	ウェット 83 ~ 125 $\mu$ m ドライ 50 ~ 75 $\mu$ m

		5 $^{\circ}$ C	10 $^{\circ}$ C	20 $^{\circ}$ C	30 $^{\circ}$ C
乾燥時間	指触	40分	30分	20分	10分
	硬化	6時間	5時間	4時間	3時間
塗装間隔	最短 *有機系	72時間	32時間	24時間	18時間
	最短 *有機系没水	14日	10日	7日	7日
	最長	—	—	—	—
可使時間		14時間	10時間	7時間	5時間

塗装条件	塗装方法	エアレススプレー、はけ(タッチアップ用)
	気象	温度:0~50 $^{\circ}$ C、湿度:50~85%RH
	エアレススプレー時	適正粘度:(Fc#4)10~12秒 チップNo.:(GRACO)419, 519 二次(塗料)圧:9.8MPa ガン移動速度:60~80cm/秒
	シンナー	無機ショップシンナーH、 希釈率:0~7%[容量]
	素地調整	鋼板に直塗りISO Sa2 1/2
	適合下塗	ガルボンSP、セラボンド2000
	適合上塗	無機ジンク系、エポキシ系等の上塗り塗料

- 使用上の注意
- ① \*上記塗装間隔は有機塗料を塗り重ねる場合で、同一塗料の場合の最短間隔は硬化時間です。PC施工の場合には、次の塗装間隔となります。  

温度	5 $^{\circ}$ C	10 $^{\circ}$ C	20 $^{\circ}$ C	30 $^{\circ}$ C
PC施工(最短)	24時間	20時間	16時間	10時間

 なお、耐酸、耐アルカリ性が要求される部分への使用はできません。
  - ②換気、火気に十分注意して下さい。なお、塗装のみならず、塗膜が硬化するまで換気が必要です。
  - ③主剤を攪拌しながら少しずつ粉末を混合し、一樣になるまで動力攪拌機を使用して攪拌して下さい。粉末中に主剤を入れると混合不良を起こしますので注意して下さい。
  - ④混合攪拌の速度はゆるくして下さい。速いと粘度上昇し固化します。調合後も、塗料は常にゆるやかに攪拌し、沈殿のないようにして下さい。攪拌が強すぎると、塗料粘度が上昇し、ゲル化することがありますので、攪拌は必ずゆるやかに行ってください。
  - ⑤水分の混入は避けて下さい。混入すると粘度上昇し固化します。
  - ⑥スプレーガンが被塗面からあまり離さないで下さい。離れ過ぎるとドライスプレーになります。
  - ⑦膜厚は150 $\mu$ mを超えるとクラックを生じる可能性があります。
  - ⑧湿度が低い場合、硬化速度が遅くなります。
  - ⑨ガルボンS-HB塗膜上に有機塗料を塗装する場合には、ミストコートが必要です。
  - ⑩夏期(6~9月)の塗装でスプレーダストが多い場合には、無機ショップ用シンナーSSSを使用してください。
  - ⑪有機塗料を上塗する場合は、ガルボンS-HBの膜厚は65 $\mu$ mを推奨します。
  - ⑫SDSおよび容器に表示の注意事項をよく読んで取り扱い下さい。

# ガルボンS-HB (2017年6月版)

荷 姿	10kgセット、25kgセット	
危険物表示		【主剤】 / 【粉末】
	消防庁登録記号 . . .	0614SA / -
	引火点 . . . . .	14.5℃ / -℃
	消防法危険物区分 . .	第一石油類 / 粉末：非危険物
	爆発限界（体積％） .	下限 1.1、上限 19.0
有機溶剤区分 . . . .	第二種有機溶剤	
備 考	①塗装条件等については最寄の弊社営業所にお問い合わせ願います。 ②塗料密度およびVOC量は、塗料の代表配合から計算した値です。色相等により数値が若干異なる場合があります。	

本製品説明書に記されている使用条件、使用上の注意事項等を逸脱した使用により生じる品質の異常は使用者の責任にて対応願います。当社が指定する以外の塗料、添加剤等を混合すると、単に品質の異常をきたすのみならず、安全上の問題が発生することもありますので、使用者の責任において安全性、品質等を確認願います。